

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2014年11月1日

発行元 (有)沼津電話工事

スマイルワン

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【10周年、ありがとうございました！】

10月3日、沼津ラクーンよしもと劇場で行われました「沼津経営塾10周年記念イベント」には、立ち見も出るくらいたくさんの方にお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。

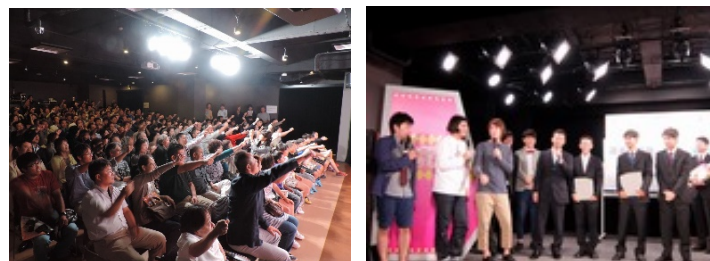
バタバタと準備をしましたので、至らないところがたくさんあったとは思いますが、参加して下さいました多くの方から、「面白かった!」「本当にいい会だった」とのお褒めの言葉を頂き、嬉しく思っています。

沼津経営塾の実質的主要メンバーは、4名なんです。この10周年を開催するにあたり、“よしもとの劇場を貸切って”と言っては見たものの、まず、この4名でどれだけ人を集めることが出来るのだろうか? という不安でいっぱいでした。こういう時に日頃、どれだけ周りの方に働きかけているかが問われますね。

杉井先生は「人を集めることは商売の基本だ!」「人を集めるのが下手な人ほど、商売も下手だ」と話して下さいます。人が集まらないのは「魅力」がないからですよ! 「魅力」がなければ選ばれませんし、儲かる訳がないということなんだと思います。この話は、不義理ばかりしている私にとって本当に耳の痛い話です。(汗) それでも、劇場を満席にしようと言ってしまった手前、どうにかしなければと、多くの方に声をかけさせて頂きました。

そんな私の心配、不安をよそに“よしもと劇場”の名前の力もあったと思いますが、当日は200名を超える参加者の方が集まって下さいました。本当に多くの方々を支えられていることを実感致しました。自分の人生の中で、こんな面白いチャンス頂き、また奇跡的な10周年を迎えることが出来たことは、仲間がいてくれたおかげです。

自分の人生、もっともっと磨いていきたいと思えますし、一緒に磨き合える仲間を増やしていきたいです。興味のある方は是非、声をかけて下さいね!



沼津経営塾開催日

11月6日(木)沼津市民文化センター第一会議室 PM7:00より

【誕生日プレゼント】

10月27日は私の誕生日でした! あっ、51歳の誕生日プレゼントは来年の10月26日までお受けしまするので、よろしく願い致します。(笑)

誕生日プレゼントは、もちろん“モノ”も嬉しいのですが、家族や、自分を思ってくくださる方の“気持ち”が一番うれしいですよ!

えっ? やっぱり金額…ですか? (汗)

静岡経営塾では、メンバーの誕生日にみんなからプレゼントを贈ることにしています。その月の担当者が企画するのですが、今回私へのプレゼントは、お菓子のビスコと、DVD一枚した。そう聞くと、「な〜んだ!」と思っちゃうでしょ!?

ところが、いただいたビスコは“おのちゃんマンの写真付きビスコ”なんです! 日本に、いや世界に一個しかないものですよ。

そしてDVDは懇親会の時、みんなの前で見させて頂いたのですが、メンバー全員からのビデオメッセージが録画されていました。

緊張した顔で真面目にコメントして下さいる仲間、事務所に「馬の耳第一号」を大切に飾ってくれる仲間、富士山をバックに、屋根の上で“おめでとう”を叫んでくれる仲間、子供さんと一緒にダンス? をしてくれる仲間、モジモジ君や鼻に枝豆を詰めて登場する仲間(杉井先生)など、これは嬉しかったですね〜 目頭が熱くなりました。

「静岡経営塾」は、沼津とは違って大人数で、参加メンバーは県下全域はもちろん、富山、長野、山梨、三重、埼玉など広範囲から参加しています。まとめるのにも、時間も手間もかかってしまったと思います。こんな素敵な仲間からのDVD。お金では買うことのできない、ある意味究極のプレゼントですね! こんな仲間が近くにいてくれることが、私にとっての宝です。

沼津経営塾の10周年にしても、誕生日のプレゼントにしても、本当に素敵な思い出が出来ました。来年の誕生日にはもっと輝いている自分でいたいです。頭のことじゃないですよ! (汗)

【若者のPC離れ】

15~19歳のPCでのネット利用時間を調べたところ、1年前の3分の2以下と大幅に減少しているそうです。デスクワークのない10代の若者にとって、スマホでほとんどのことが出来るので、PCは不要なのかもしれません。また、もうすでにキーボードを使えない若者が大量発生しているという指摘もあるようです。



お馬様の
今日のお言葉

あはれ
おはれ

